

地域との目標の共有、協働に 向けた仕組みづくり

～ 地域の熱意を活かす支援方策～

地域の最適解を求めるプロセスの構築

地域における望ましい水循環系の構築に向けて、地域住民・NPO等と行政機関が連携して協議会等の「場」を設置。この「場」をベースに、以下の要素を組み入れた活動を展開することにより、地域における最適解の実現につなげることが可能

ビジョン・目標の共有

……計画段階からの地域住民、NPO等の参画 維持管理段階の参画につながる

地域力(地域の人材・組織等のパワー)を活かす

……地域住民が自ら地域を良くしていこうとする気持ちを活かす仕組み

地域の発想の尊重

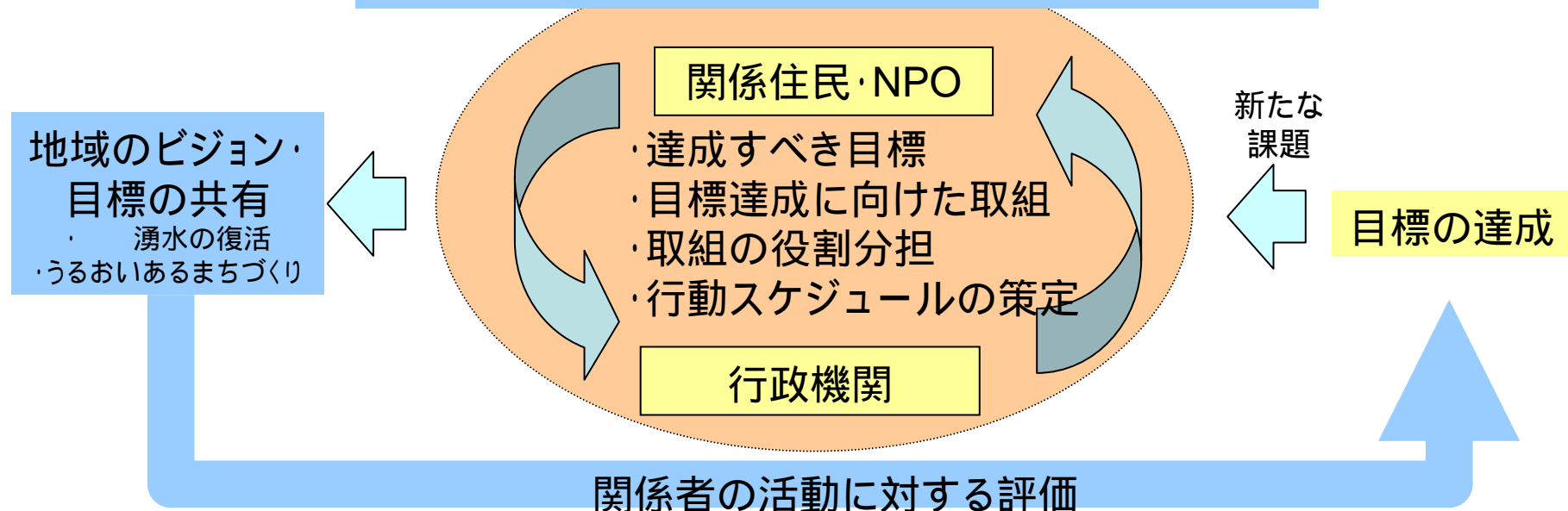
……地域の多様な工夫や柔軟な発想を活かすことができる仕組み

活動プロセスの重視

……試行的な取り組みを育て広めていく過程や、取り組みの評価プロセス(PDCAサイクル)を組み込み

地域にとって最も望ましい姿(最適解)を導くためのプロセス

関係住民と行政等が議論し協働で取り組む場(協議会など)



地域の熱意を活かす支援方策 ~ビジョン・目標の共有~

< 論点 >

計画段階からの地域住民等の参画により、ビジョン・目標の共有を図ることは、その後の維持管理段階における連携・協働を図る上で必要

事例検討

計画段階からの協議で、地元と市で意思疎通が十分に図られ、地元も協力して維持管理を行う前提で協議が進行。地元自治会は、計画当初から参画したことで、維持管理において責任を果たすことが当然の責務として受け止め。[大阪府大東市]

地域住民や学校関係者が協議会に参加し、計画に対して積極的に意見。計画にはこれらの意見が反映され、協議会参加者からは計画の実現を待ち望む機運が醸成[北九州市]

水辺整備(河川改修)では計画段階から地元とワークショップ等を実施。その結果、事業に対する地元の関心や愛着が高まり、管理段階では地元が率先して清掃活動や地域イベント等での活用に取り組み[横浜市]

水辺保全是、原則として町内会単位での活動、行政と住民とが協働することとして制度を設計[横浜市]

水質の目標として、「ふれあい等級」の導入により、わかりやすい目標を設定[鶴見川]

< 施策のポイント >

地域住民等が計画段階からプロジェクトに参画する仕組みを構築することにより、地域の問題意識や責任感が高まり、維持管理段階における住民参画を促すことに行政の積極的な態度と、住民側の責任感、相互の信頼関係の構築が必要
ビジョンや目標設定に当たっては、住民にとって分かりやすいアウトカム指標を用いるとともに、地域の活動範囲や対象エリアも併せて合意することが重要

< 具体的施策 >

現行の新世代下水道支援事業制度水環境創造事業採択の要件として、協議会など住民・NPO(必要に応じて関係部局、関係行政機関)による計画策定を追加

地域の熱意を活かす支援方策 ~地域力の活用~

< 論点 >

高齢化社会を迎え、団塊世代の人材をはじめとした地域力を活かす仕組みづくりが必要

地域力・・・地域が有する人材、組織力

事例検討

地域の住民、特に団塊世代や高齢者が地域をよくしようという意識を持って、創出した水路の清掃や、雨水浸透施設設置の普及を自主的に推進[神戸市、新潟市]

水路の清掃を地域住民、自治体が行うことにより、地域コミュニティの醸成に寄与[神戸市、横浜市]

自治体と大学との連携により、大学がキャンパス内にせせらぎ水路を整備することで、市民が自由に入り出すことが出来る広く良好なオープンスペースを確保[神戸市]



< 施策のポイント >

地域を良くしようとする気持ち(コミュニティ・プライド)を持った地域住民の熱意を組織化して、行政とも連携した活動へと発展させる仕組みが必要

高齢化社会を迎え、リタイアした団塊世代の地域活動参画や高齢者の生きがいつくりを介した、地域力の活用が求められる

地域に立地する教育機関、企業の社会的責任(CSR)等を、地域力の一つとして捉え、積極的に活用していくことが望ましい

< 具体的施策 >

地域力を活かした地域の水辺空間保全や、雨水浸透による水量確保等を行おうとする取組に対して、手厚く支援

地域の熱意を活かす支援方策～地域の発想、創意工夫への対応～

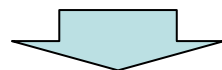
< 論点 >

地域の発想、創意工夫に対応できる柔軟な制度が求められる

事例検討

設計段階において、地域住民が協議会等に参画し意見を述べることにより、例えば防火水槽の役割を果たす窪みをせせらぎ水路に設けるなど、住民の利活用を想定した水辺空間の整備が可能に[神戸市、横浜市]

従前の水路を保全し、管渠と水路の併用により浸水対策と水路保全の両目的を兼ねた事業展開を図りたいが、雨水渠の構造基準がネックになってしまうため、下水道事業で水路を保全することが困難[横浜市]



< 施策のポイント >

地域の発想や創意工夫を極力活かすことができる制度設計や運用を行うことは、地域活動の大きなインセンティブに

さらに、行政では目の届きにくいきめ細かな施設整備が可能となったり、整備・管理の低コスト化が図られるなどの効果が期待

< 具体的施策 >

地域の協議会等で検討され、合意された施設計画については、構造基準を弾力的に運用するとともに、当該施設の管理権限を一部付与することが出来る等の制度を検討
新世代下水道支援事業制度を拡充し、地域の協議会で合意された施設計画や地域の提案事業等について、補助対象を拡充

地域の熱意を活かす支援方策 ~ プロセスの重視 ~

< 論点 >

活動のプロセスを重視し、活動の継続とさらにその発展を促す仕組みをプロセスに組み込むことが重要

事例検討

地域住民と行政とが一体となって、効果が不確実な取り組みを協働で「ためし」に行動、効果を評価しながら、それを流域に広めていく「みためし活動」を推進することで、地域活動を活性化[印旛沼流域]

維持管理を行う住民の高齢化が進んできており、機械の貸与等により管理の省力化に勤めているが、今後の管理が不安[横浜市]

地域総出の清掃活動において、昔から存在する自治会からは世帯数を上回る参加があるが、新興の自治会からの参加は多くなく、維持管理は市が対応すべきとの意見がある[大阪府大東市]

水辺や公園の愛護活動の継続に伴い、団体による活動状況の差も顕在化。これらの評価の結果として、頑張る団体に支援を手厚くするよう制度を変更[横浜市]

< 施策のポイント >

計画づくりから実施・管理段階において地域と協働して、「試行的な取組」を育て、それを広めていくプロセスの組み込みは、地域住民の意欲向上につながり、地域活動の活性化に資する

地域活動の継続のためには、極力多くの住民が関与する活動とするとともに、他団体との交流連携による活性化など、行政において、地域活動を支援することが重要

< 具体的施策 >

地域住民と一体となって試行的な取り組みを継続し、その効果を評価した上で地域全体に広めていくスキームを事業の一環として位置づけ

協議会等の場で、関係者が取り組みを評価し、次の活動につなげていくPDCAサイクルを事業に位置づけ

水に関わる活動について、活動内容や取り組みの工夫等をデータベース化し、関係団体に情報提供するとともに、他団体との交流会等の開催により連携を促進し、活動を活性化